

非核平和の街へ

非核平和都市宣言に関する決議

いま、世界は核保有国のはてしない核軍拡競争の中で、人類の生存そのものが脅やかされている。

私たちは世界ではじめて原爆の洗礼をうけた国民として再び「広島」「長崎」の惨禍を繰り返させてはならない責任を負っている。本市もかつての戦争で空襲による大被害をうけ焦土と化した。もし今日、戦争が起これば一瞬のうちに潰滅するであろう。

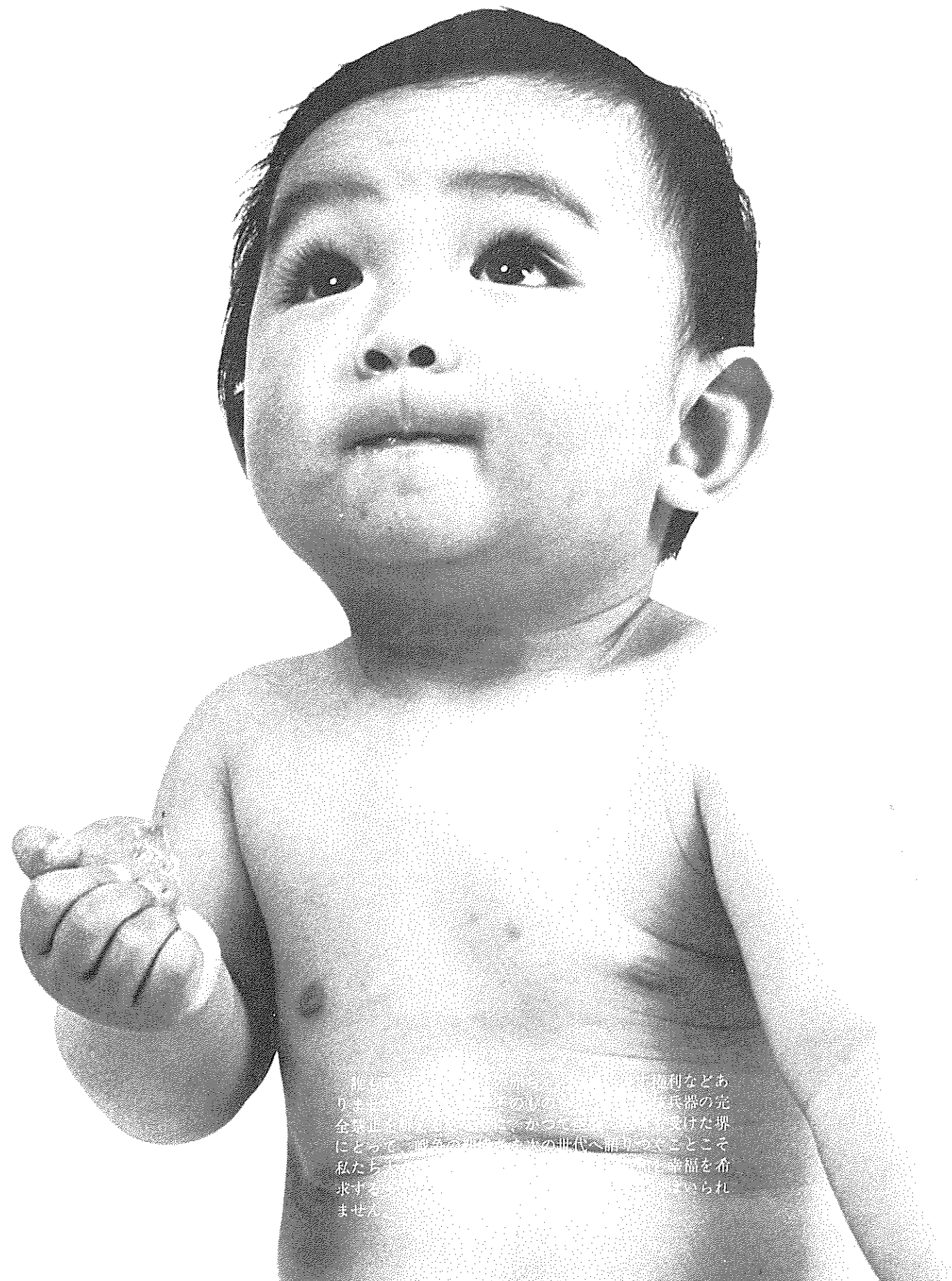
今こそ、私たちは平和憲法と市民の平和で安全な生活を守るため、世界の人びとと手をつなぎ、核兵器の完全禁止を強く訴え、とともに非核三原則の堅持を政府に約束させ、将来にわたっていかなる核兵器、核関連部隊も本市内及びその周辺に配備、貯蔵を許さず、また通過航行も認めるべきではない。

私たちは平和な社会の実現を願う全市民の声に耳を傾け、すべての核兵器が廃絶されるまで行動することを確認し、ここに本市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

昭和 58 年 3 月 25 日

堺市議会

写真は泉北ニュータウン泉ヶ丘地区。



誰にも争う必要がなくなり、平和な社会が実現すれば、核兵器の完全禁止も当然のことである。かつて戦争の惨禍を受けた堺に、平和な社会が実現すれば、平和な世帯へ語りついでこそ私たちが平和な社会の実現を望むことができ、幸福を希求することができ、平和な社会が実現されるべきである。